

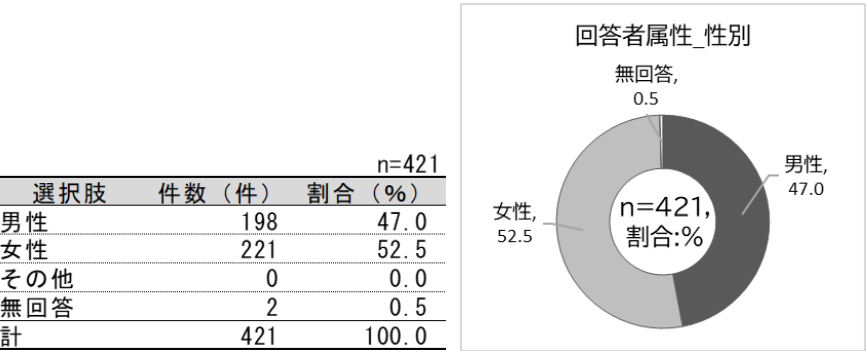
I. 調査概要

調査目的	第3次西和賀町総合計画の基本構想及び前期基本計画の策定にあたり、町民の皆様のご意見や考えを幅広く伺うこと。
調査対象	町内在住の高校生以上の町民から、無作為に抽出した 1,000 人。
調査方法	調査票を郵送し、返信用封筒による郵送での回答または、2次元コードからオンラインでの回答の選択制とした。
実施期間	調査票を発送した令和6年12月23日～令和7年1月10日まで。
回答件数	421 件（回収率：42.1％）

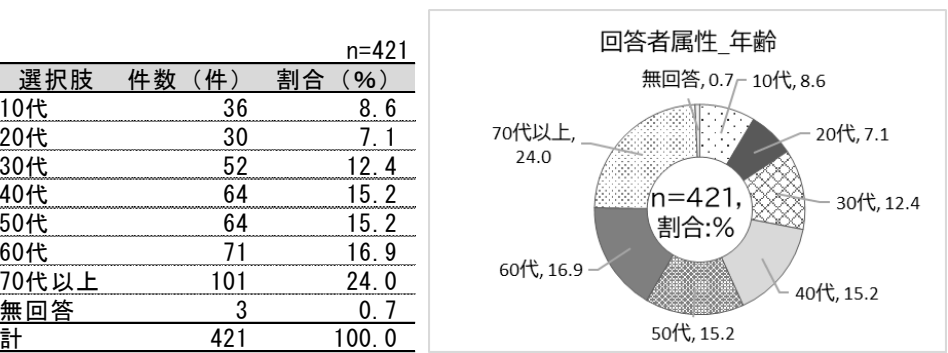
II. 調査結果〔単純集計〕

1. 回答者属性

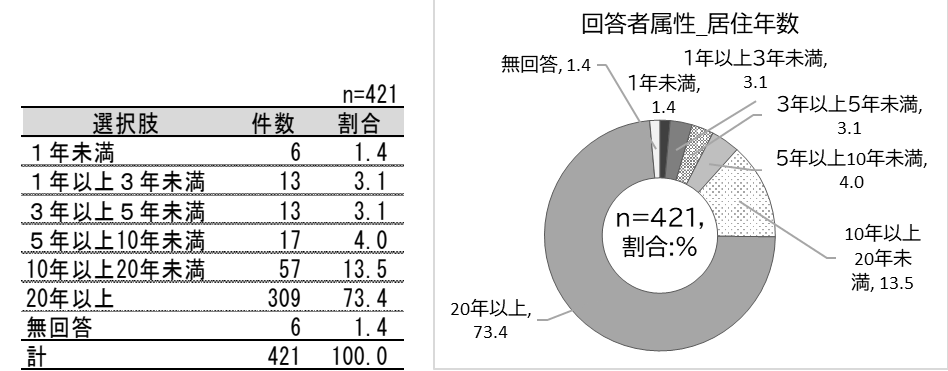
問1 性別



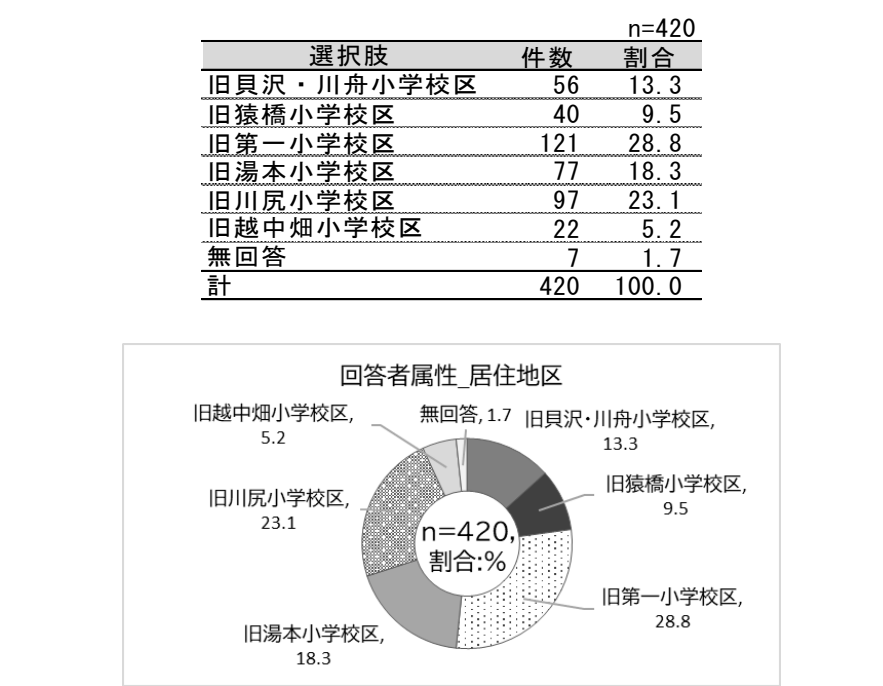
問2 年齢



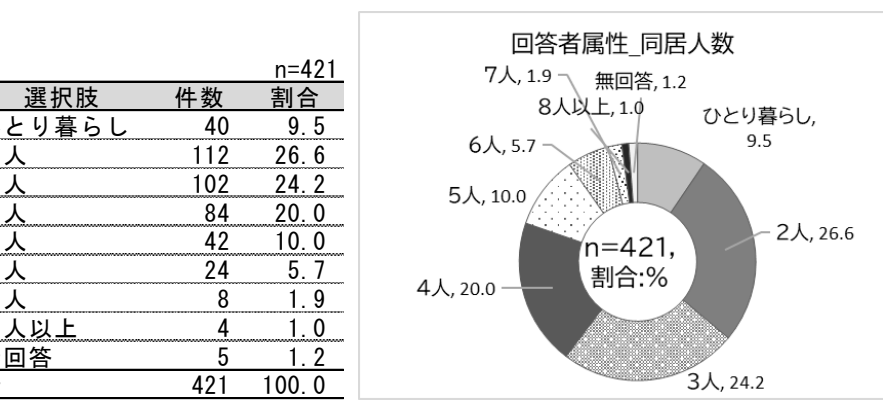
問3 居住年数



問4 居住地

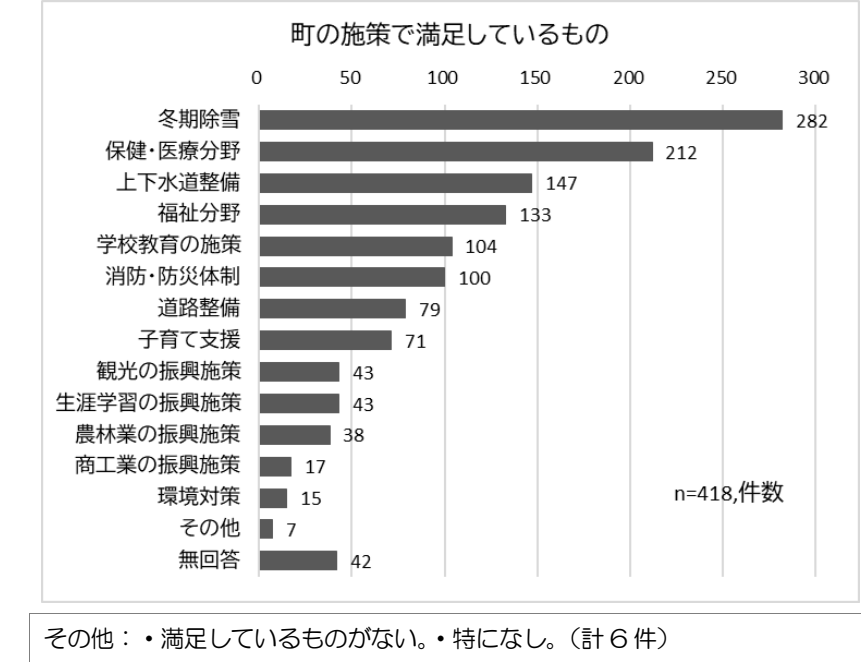


問5 同居人数



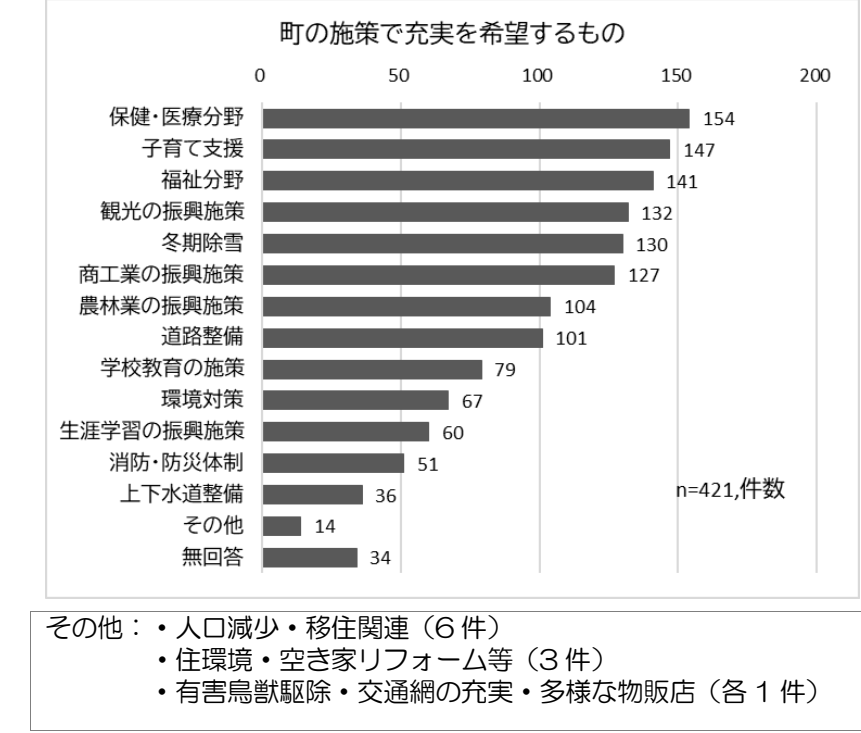
2. 現在の町の行政施策について

問6 満足度の高い施策分野



問7 満足していること（自由記述）※別紙参照

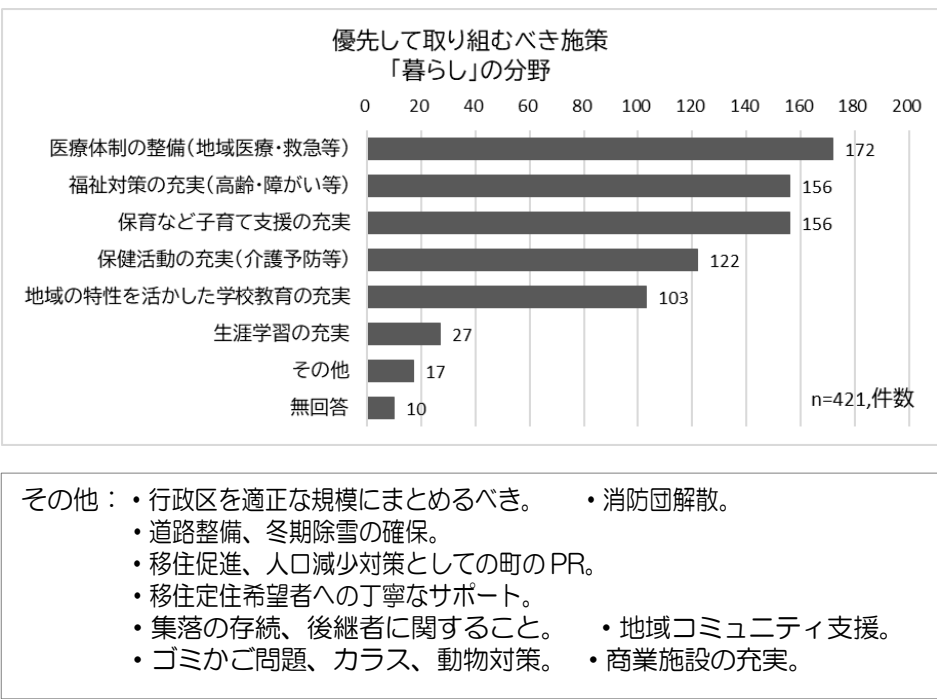
問8 充実を希望する施策分野



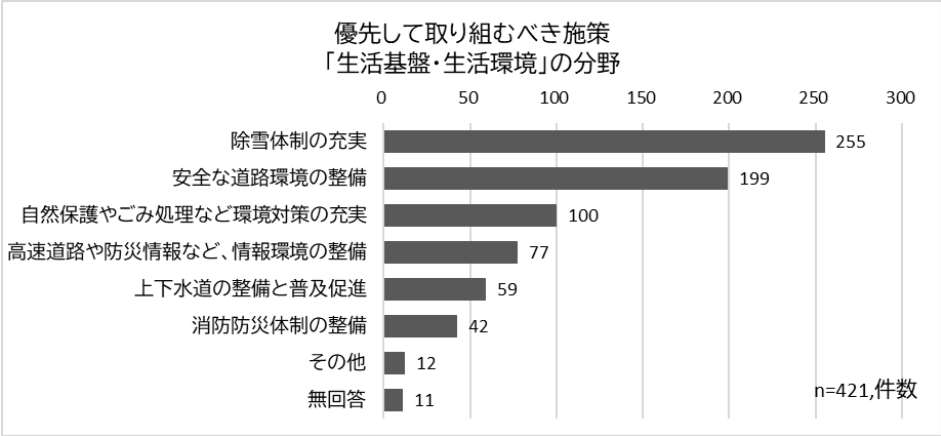
問9 充実を希望する理由（自由記述）※別紙参照

3. 西和賀町のまちづくりについてー優先して取り組むべき施策

問10 「暮らし」の分野

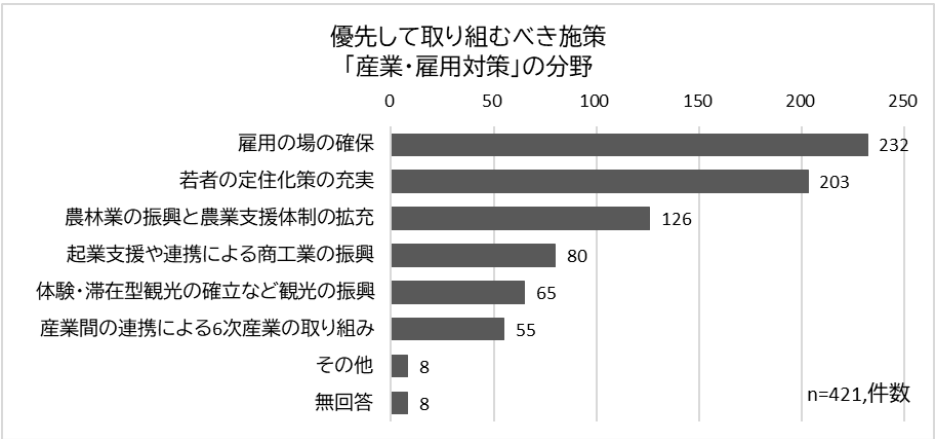


問 11 「生活基盤・生活環境」の分野



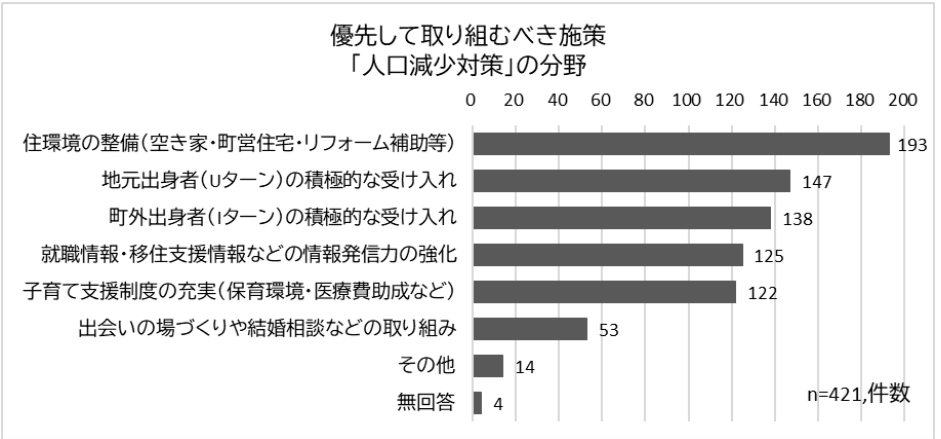
その他：・働く場所を増やす、企業誘致。
・交通弱者の移動手段の確保と充実（高齢者や車のない人等）。
・介護施設の順番待ちの解消。・移住者へのサポート。
・プラスチックゴミ削減のため、天然素材利用の普及。
・冬期除雪関係者の将来的な人材確保。
・温泉の町らしい設備の見直し。・空き家対策。

問 12 「産業・雇用対策」の分野



その他：・今ある企業を守る取り組み。事業承継（なり手を探すこと）。
・持続可能な農業の取り組み。
・労働力の確保。・ここで暮らしたくなる施策を考えて下さい。

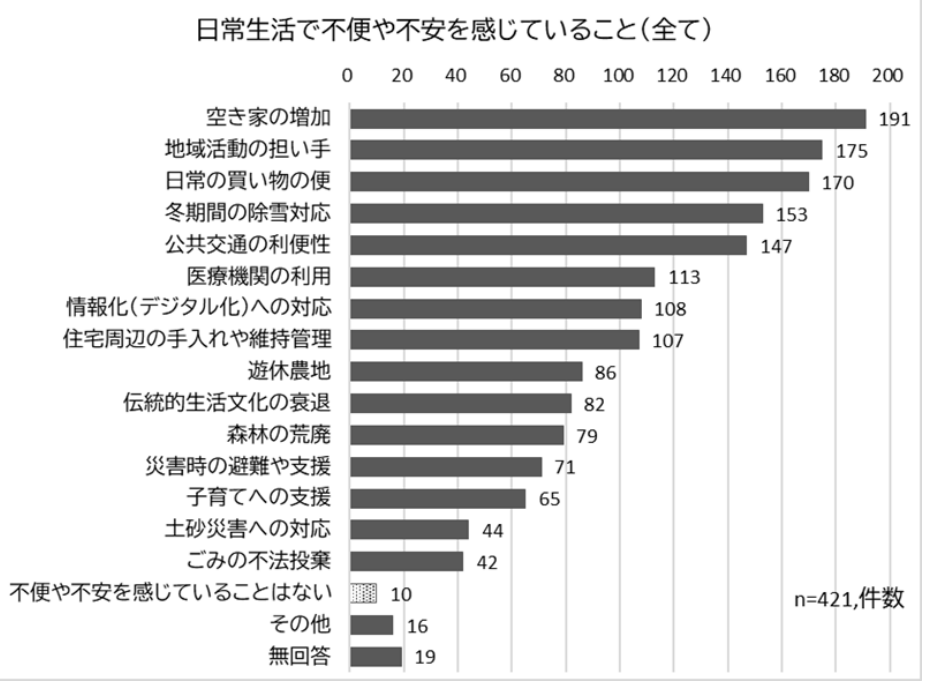
問 13 「人口減少対策」の分野



その他：・I・Uターン受入の地域住民の意識改革が必要。
・定住コーディネーターの配置と育成。
・企業誘致。・雇用の促進。・職場の確保。・除雪体制の充実。

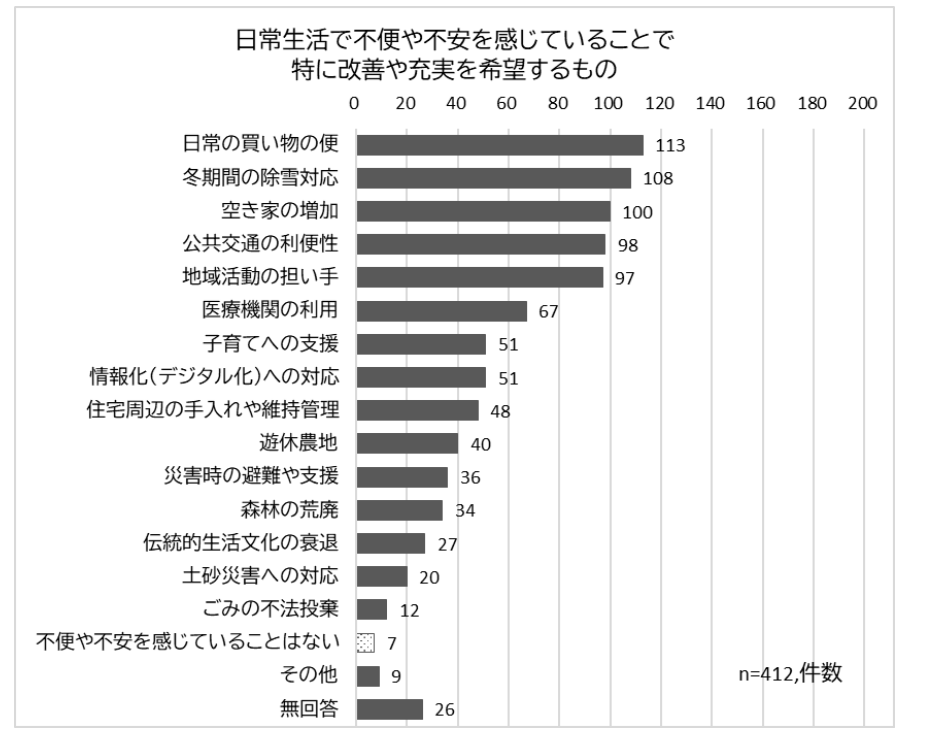
4. 日常生活に関することについて

問 14 不安や不便を感じていること（全て）



その他：・鳥獣害防止。・5Gの普及。・倒壊家屋整理への支援。
・人がいない。若者がいない。繋がりが無い。・住民のモラル。
・金融機関(ATM)が減って不便。・コピー機の利用や各種支払場所。
・ちょっとした買い物ができる店の減少。・高齢者の足の確保。
・移住者向けの情報不足。・遊び場、公園。子どもが遊べる屋内施設。

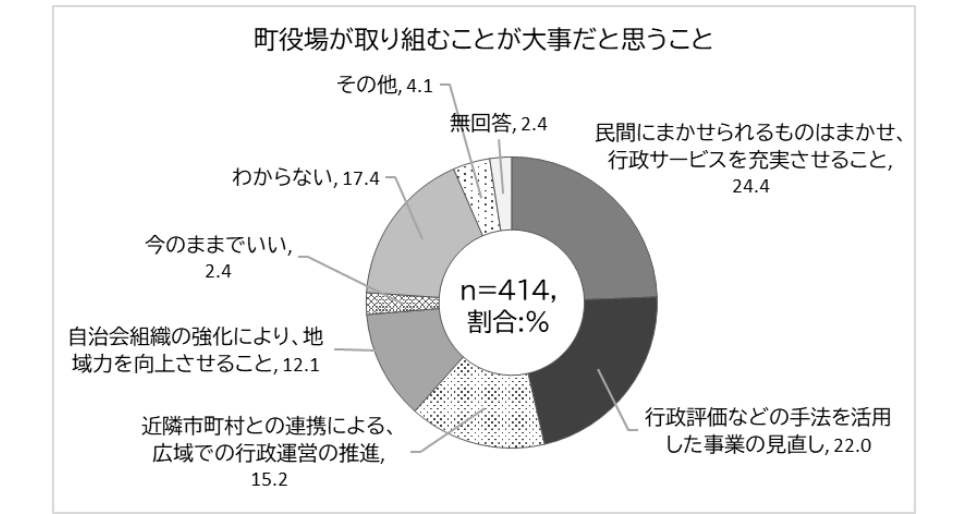
問 15 特に改善や充実に希望するもの（3つ）



その他：・住民の現在の社会に応じた道徳や倫理意識。・老後の生活。
・沢内地区の観光資源の活用。冬季も営業している産直。自販機設置。

5. 限られた予算の中での効率的な行政運営のために

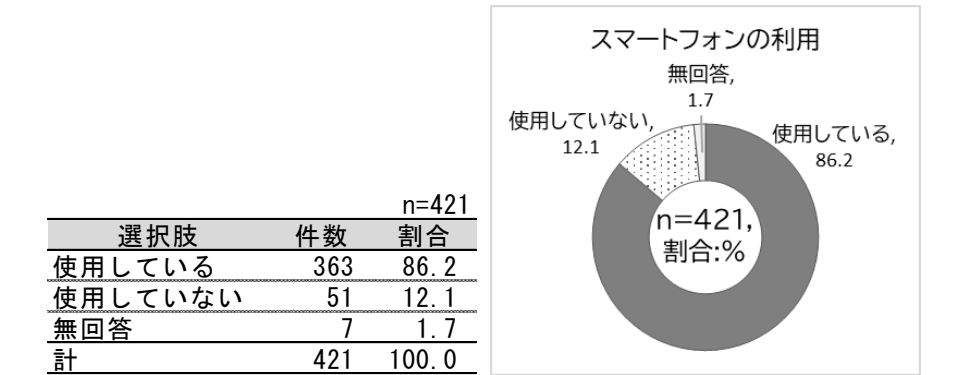
問 16 町役場が取り組むこと



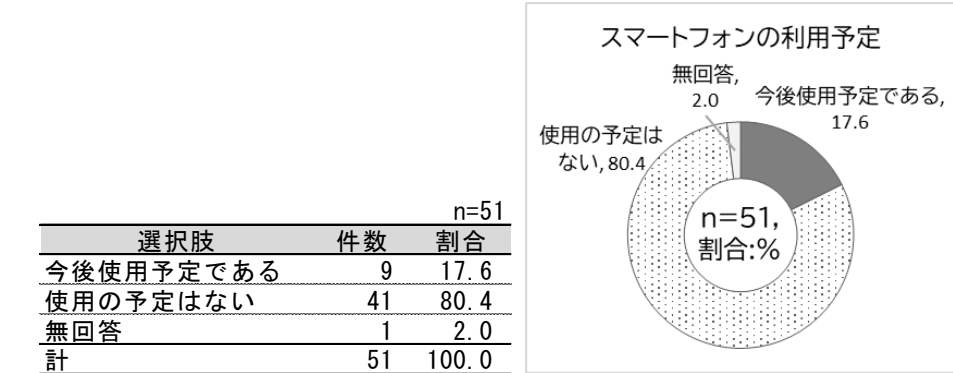
その他：・自治会役員だけではなく、住民全体への連絡体制（情報発信）の構築。
・役場職員のOJT。課内の業務仕分けと効率化。
・収益の上がる事業をもっと考える。・民間との連携を図る。
・お金をかけず人間力で対応してほしい。遊休施設の活用。

6. スマートフォンの使用状況

問 17 普段スマートフォンを使用しているか



問 18 スマートフォン使用の予定



7. 今後のまちづくりについてのご意見（自由記述）※別紙参照

(別紙) 自由記述・抜粋

問 7

満足していること

冬期除雪

- 除雪が行き届いている。丁寧で、雪が降っても安全に運転できる。
- 出勤の時間までに除雪してもらっているので助かる。
- 完璧に近い除雪。

保健・医療

- 沢内病院の存在。高齢者の医療や健康確保が充実している。
- 沢内病院の診療など充実していて安心している。
- 医療費助成が手厚い。

上下水道整備

- 水道の水はいつも安定している。
- 今まで特に不便を感じたことがない。
- 上下水道は、ほぼすべての地区まで行き届いていて良いと思う。

福祉

- 包括支援センターと連携して丁寧に対象家庭や個人に対応してると思う。
- 介護施設（特養、老健、デイサービス施設）が比較的多い所。

学校教育

- 支援員の配置や公営塾、高校の魅力化など他自治体と比較して支援が手厚い。
- 町からの支援が手厚く、様々なことに挑戦しやすい環境があるところ。
- 西和賀高校の魅力化支援に長年取り組んできたことが学級増につながった。

消防・防災体制

- 地域で消防に取り組んでいるところ。
- 学校でのしっかりした防災教室がある。
- 火事や災害の少なさ。

道路整備

- 他の市町村にくらべ、舗装の整備がなされている。
- 道路などのインフラは、優先して整備されてきたと思う。

子育て支援

- 乳幼児健診などで手厚くサポートしてくれる。
- 医療費無料、保育料無料。
- 子供の数が少ない中で、できることをやってもらっているのかなと思う。

観光の振興

- 地域の特色、特産物の情報発信が活力を育んでいると思います。
- 温泉施設が充実しているところ。

生涯学習

- 行事、イベントがあり子供たちも楽しんで参加する機会があり良い。

農林業の振興

- 学校での林業に関する総合探究の時間がしっかりあるところ。

商工業の振興

- ユキノチカラブランドで町の商品の魅力を広めている。

問 9

充実を希望する理由

保健・医療

- 救急の場合に、1 時間程かかる他地域への移動は、リスクが大きい。
- すぐ小児科に行けない。耳鼻科や皮膚科など、診療科が限られていて不便。
- 沢内病院は、救急で受診したくても子供だとほぼ断られる。

子育て支援

- 〇才児保育の早期導入。
- 介護用品、育児用品を町内で買うことが困難、購入できる店の情報提供を。
- 町は 15 才までは、学費、給食費がかからないようにした方がいいと思う。
- 冬季間に子どもを遊ばせる場所が無い。

福祉

- 障がい者に対する支援が乏しいと感じている。弱者に対する支援を強く望む。
- 足の悪い「おでかけバス」に乗れない高齢者の通院手段はないものか。
- 不登校の子供の居場所がほしい。 ・福祉分野は人材不足。

観光の振興

- 季節や気候を取り入れたレジャーの印象が薄いと思ったから。
- 雪あかり以外に有名なもの、夏に何か欲しい。 ・観光名所があまり無い。
- 西和賀の魅力発信が全くできていないから、町外から人も来にくい。

冬期除雪

- 災害発生時、バイパスとなる様な幹線道が除雪されていない。
- 年配の作業員が多いので、若い人に除雪の魅力を伝えてもらいたい。

商工業の振興

- 店がなくて不便である。 ・商工業は、若い人たちの働く場がない。
- 経済の活性化が急務。生活資金が確保できないと、人口流出は止められない。

農林業の振興

- 西和賀町が活性化するには、農業で稼げるようになる必要がある。
- 森林資源の活用ができていない。薪ストーブの普及や薪の支援等。
- 荒廃農地の発生防止策、鳥獣被害対策。 ・農林業の跡継ぎがいない。

道路整備

- 道路整備要望のあった事項についてある程度の見通しを示してほしい。
- 一部の歩道の段差が目立っている。 ・駅につながる道路を広くしてほしい。

学校教育

- 学校の老朽化が見られるから。
- 町内の子ども達が町内へ進学したいと思うような取り組みにも期待します。

環境対策

- 環境の面から、家庭ゴミの焼却を単独で行わない様に。有害なおいがする。
- 107 号線のゴミや、湯川方面の廃水など気になってます。

生涯学習

- 銀河ホールの有効活用。 ・習いごと、教室、増えて欲しいです。
- 子供から高齢者までスポーツに親しめる環境。 ・多くの芸術、文化の機会。

消防・防災体制

- 災害時、避難所待機に向けて、毛布など保存されてるといいと思う。
- 消防団はどこの部も人が不足しています。

7. 今後のまちづくりについてのご意見（自由記述）

問 19

今後のまちづくりについてのご意見

○「暮らし」の分野

- お出かけバスの運賃、温泉利用料金も少し上げましょう。物価高騰の時代だからこそ、町民から理解を得られるのでは？（40 代・女性）
- 障がい者に対して、地域性か、閉そく的な環境だと思う。（30 代・男性）
- 老人に優しい、老人でも働くことができる施設などをつくる。（10 代・女性）
- 西和賀町はとてもすてきな町なので伝統や担い手などの対策を行うとともに、町で行う行事を大切にしていってほしい。（10 代・女性）
- 図書環境において、読書振興に加え、内外からの調査研究に資する設備・人員が欲しい。学校保育再編に際し、学校司書配置、新校舎と町立図書館併設の検討。町外から高校生が多数入ることから、喫緊の課題。（40 代・男性）
- 学校でも町の現状を調べ、活性化のアイデアを考える学習することがあるので、子どもたちの意見を聞ける場があってもいいと思う。（10 代・女性）
- 小学生や中学生、高校生と高齢者施設や保育施設の人たち、子供たちと交流する機会、様々な世代の人とコミュニケーションをはかることで地域力の向上や地域の一体感に繋がると思います。（10 代・女性）
- 体育館やスキー場等の施設が多く、管理するにはマンパワーが足りない。銀河ホールに関しても同様。スクラップアンドビルド、施設利用料の徴収も必要。現役世代、子供達が住み続ける政策、予算措置を望む。（30 代・男性）

○「生活基盤・生活環境」の分野

- 町内に一つでいいので、充実した公園の設備を。（30 代・男性）
- 使われていない施設や空き地の再利用・・・子供が気軽に集まれ、遊べる公園など、季節を活かしたレジャーの充実、広報の充実。（10 代・男性）
- 保育所、学校、学童、病院、病後児保育などを一箇所に集約。（30 代・女性）

○「産業・雇用対策」の分野

- 六次産業化農家への支援。農林漁業者が所得向上を目指し、農山漁村の地域資源を活用した新たな付加価値を生み出す取り組みが必要だ。（10 代・女性）
- 湯田の方にはレストランなど、観光施設が多いが、沢内にはそういった環境ができていない気がする。（10 代・男性）
- 何かをやりたい若者にとって、農業、林業、クリエイターなど起業できる産業は多い。住居、子育て、起業支援、除雪機購入補助を。（30 代・男性）

○「人口減少対策」の分野

- 定住には働く場が必要であり、若者が求める雇用の場を町内から通える範囲で提示できるようにしておく。ない場合は、企業誘致や進学・就職後に町に戻って起業してもらう受け皿を作るなどしても良い。（30 代・男性）
- 人口減少しているのに地区が小分けのため、役割や手間が重複している。できる人だけに負担がかかりすぎているため、対策が必要。（集落支援員さんどこまでお願いしていいものか、皆さん不明な事が多い）（30 代・女性）

○効率的な行政運営のために

- 各課の枠を超えて柔軟な形で物事に取り組んだり、役場内で情報がもっと共有されたりする仕組み作りは出来ないものだろうか。（40 代・男性）